

YAC本部運営委員会 子ども部会報告

平成23年1月22日

日本宇宙少年団本部運営委員会
子ども部会

平成22年度YAC活動について

1. 21年度同様、①共通プログラム、②月別トピック、③モデル活動の3段階に分けて計画。

①共通プログラム

YAC団員が必ず取り組むプログラムとして、22年度は、「ロケット・人工衛星・ISSプログラム」・「宇宙アサガオの栽培」・「2011YAC夢プロジェクト」を選定。

②月別トピック

各月のトピックに関する情報を提示。

③モデル活動

各月のモデルとなる活動を提示。

※②～③については、宇宙教育だよりとしてEメール配信をおこなう

→宇宙教育だよりの作成体制の不備で発信ができなかった。次年度は発行せず、分団活動計画の参考資料として、平成22年度の各分団の活動報告一覧を配布

2. 共通プログラムを実施するにあたっての目標として、①水ロケットの全国大会(9月18-19日)、②子ども衛星アイデアコンテスト(9月～10月)を実施。

→子ども衛星アイデアコンテストについては未実施(来年度開催はJAXAと調整)

3. 上記とは別に、ホンモノ体験活動を本部活動として提供。

4. YAC団員向けに、宇宙教育テレビ(月2回)、宇宙のとびらの配布(年4回)、宇宙教材の配布(年5回)、YAC通信(配布物に封入)を実施。

5. 中・高校生向けのプログラムとして、2月～3月にかけて缶サット・モデルロケットプログラムを実施

(共通プログラム)

1. 水ロケットコンテスト2010(実施終了)

日程:2010年9月18-19日

場所:愛・地球博記念公園(愛知県長久手町)

2. 宇宙アサガオの栽培

・6月 希望分団に配布し、分団で栽培していただいた。(栽培記録の提出、種の採取を義務付け)

→栽培記録(実施報告書)の提出をお願い致します。

実施報告書を確認させていただき、交雑の心配の無い種の半数を本部に送付、次年度希望する分団、団員に配布します。

3. 2011YAC夢プロジェクト(実施終了)

・「種子島行き2011夢シート」&「自分用夢シート」を12月の配布物に封入。(ダウンロード(カラー版)も対応)

・シートを切り取り、ロケット型シートに、「名前」、「2011年あなたの夢・目標」「日付」を書いてYAC本部に送付。

・ロケットの折り紙に記入した宇宙への夢を、種子島宇宙センター所長に届け、センター内にある宇宙科学技術館にて1年間掲示する予定。

→1月20日(木) 種子島研修へ行っている水ロケットコンテスト優勝チームが種子島宇宙センターにお届けしました。

(共通プログラム)

1) 次年度へ向けての「共通教材」として考えられるもの

- ・2011年の天文現象 5月の4惑星(水星;金星;火星;木星)観察
6月2日の部分日食(東北:北海道)観察
6月16日の皆既月食の観察
12月10日の皆既月食の観察
- ・「水ロケット製作と実射」(年間に一度は分団活動の中で計画していただきたい)。
- ・2012YAC夢プロジェクトは来年も実施(分団活動での取り組みをお願いしたい)

2) 反省点

- ・植物栽培では「次世代純粋種」は採取が難しかったこと。
- ・天文現象は天気に左右されたこと。
- ・「水ロケット教材」がマンネリ化の傾向にあったこと。